

The background is a light teal color. A large, solid teal circle is positioned on the right side. A curved path of various icons, including buildings, trees, and vehicles, winds from the top right towards the bottom left. The text '参考資料' is centered within the large teal circle.

参考資料

参考資料

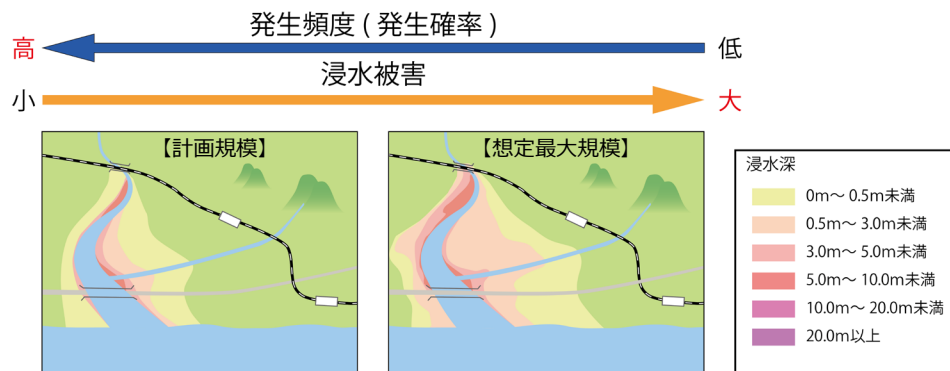
1 災害に係る現況

(1) 洪水

洪水浸水想定区域は、洪水時の円滑かつ迅速な避難を確保し、又は浸水を防止することにより、水害による被害の軽減を図るため、想定される最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定したものです。洪水浸水想定区域図には、その区域及び浸水した場合に想定される水深等が表示されています。

洪水浸水想定区域の対象とする降雨には、想定される最大規模の降雨（1,000年に1回程度）（※以下「想定最大規模」という。）と河川整備の目標とする降雨（100年から200年に1回程度）（※以下「計画規模」という。）があります。

《洪水の発生頻度と浸水被害の関係性》



《本市で対象となる洪水浸水想定区域等》

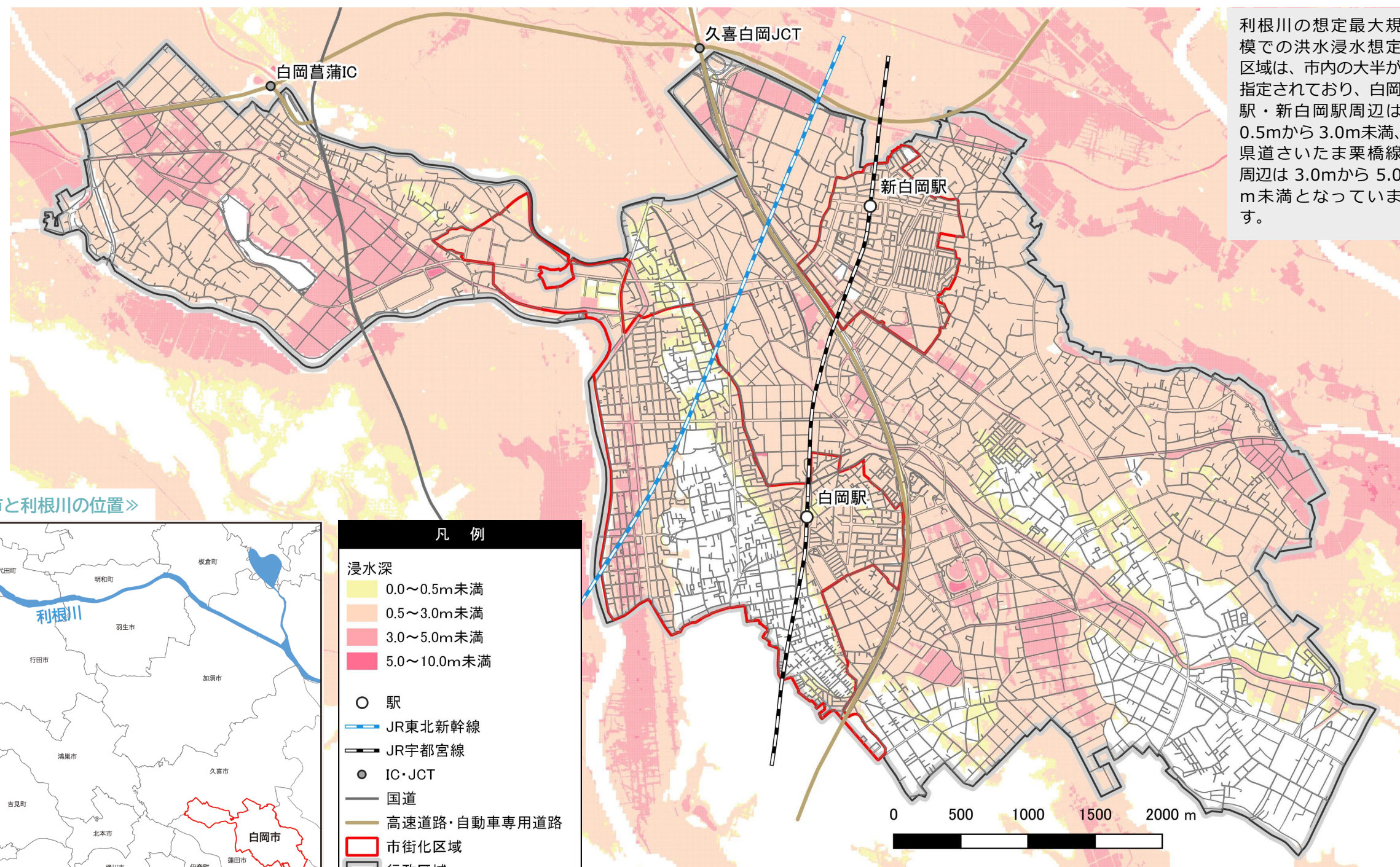
○は本市が対象となることを表す

想定規模	洪水浸水想定区域等	想定降雨量	浸水深	浸水継続時間	家屋倒壊等氾濫想定区域	
					氾濫流	河岸侵食
想定最大規模	A 利根川水系利根川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm	○	○	×	×
	B 利根川水系小山川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量491mm	○	○	×	×
	C 荒川水系荒川	荒川流域の72時間総雨量632mm	○	○	×	×
	D 利根川水系中川流域	中川流域の48時間総雨量596mm	○	○	×	○
計画規模	A 利根川水系利根川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量336mm (年超過確率1/200)	○	×	×	×
	B 利根川水系小山川	利根川流域、八斗島上流域の72時間総雨量336mm (年超過確率1/200)	×	×	×	×
	C 荒川水系荒川	荒川流域の72時間総雨量516mm (年超過確率1/200)	○	×	×	×
	D 利根川水系中川流域	中川流域の48時間総雨量355mm (年超過確率1/100)	○	×	×	×

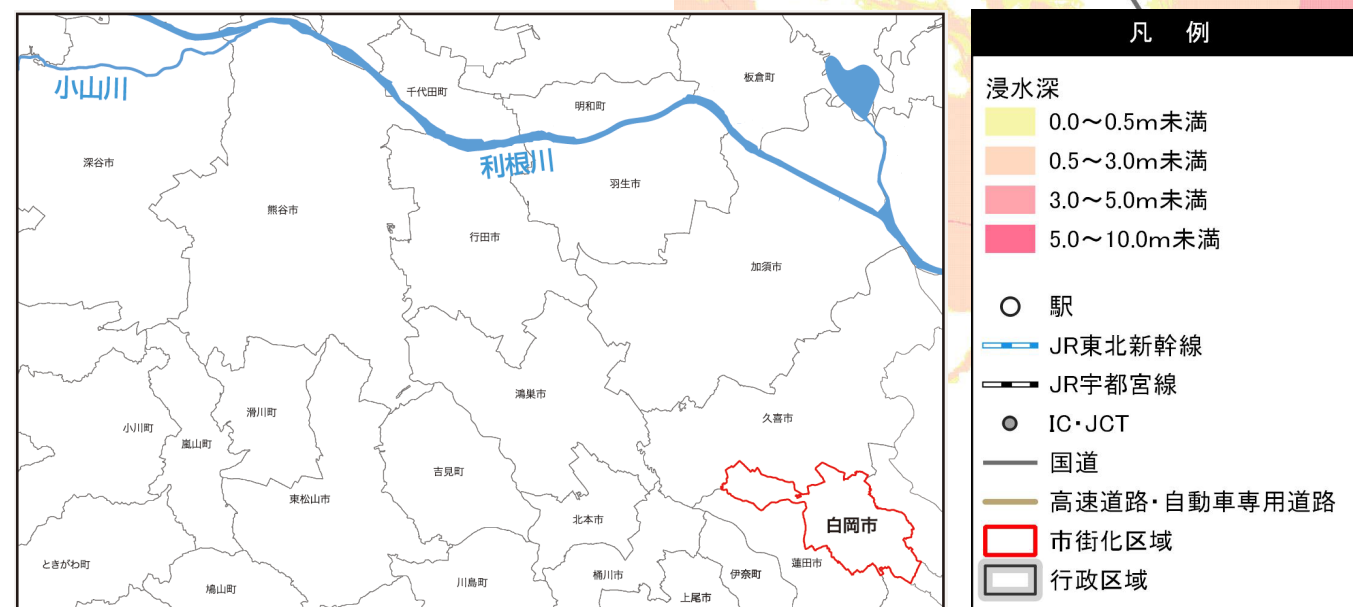
1) 洪水浸水想定区域（浸水深：想定最大規模）

市内には、利根川、小山川、荒川、中川流域に関する洪水浸水想定区域等が指定されています。最も範囲の広い利根川では、市域の大半が洪水浸水想定区域に指定されており、人口が多く集積している市街化区域内も含まれています。白岡駅・新白岡駅周辺は0.5mから3.0m未満、県道さいたま栗橋線周辺は3.0mから5.0m未満となっています。

《A 利根川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



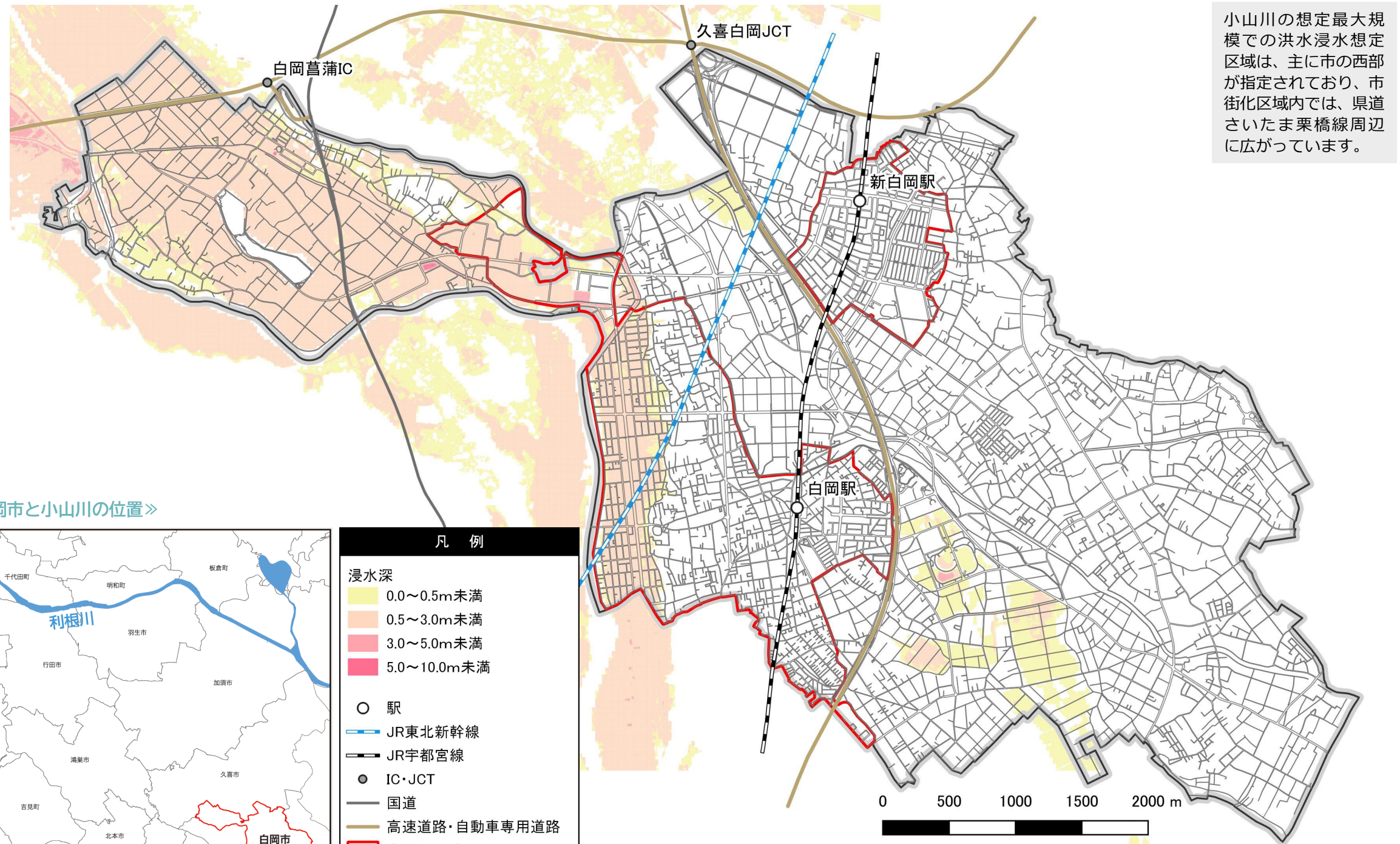
《白岡市と利根川の位置》



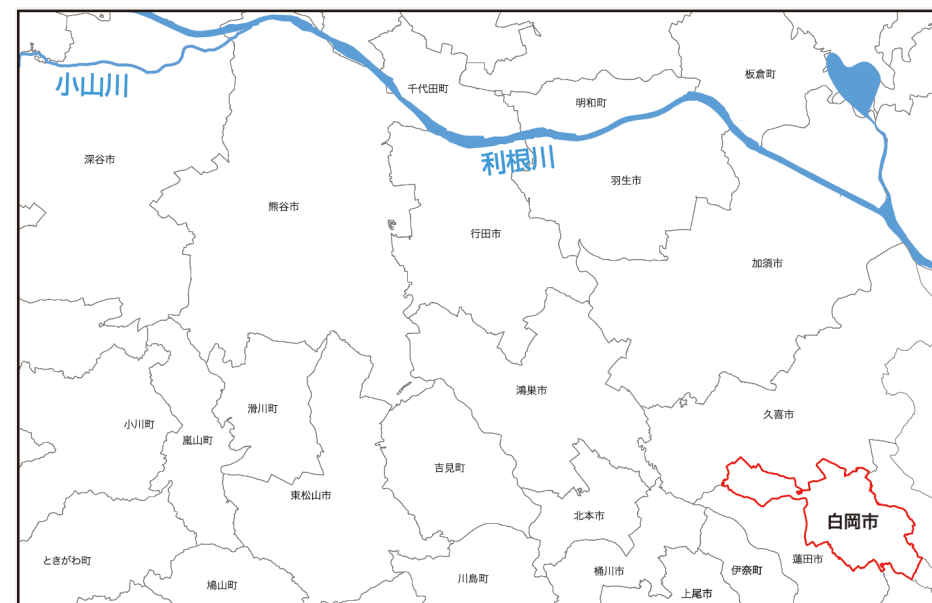
出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所・利根川下流河川事務所）

《B 小山川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



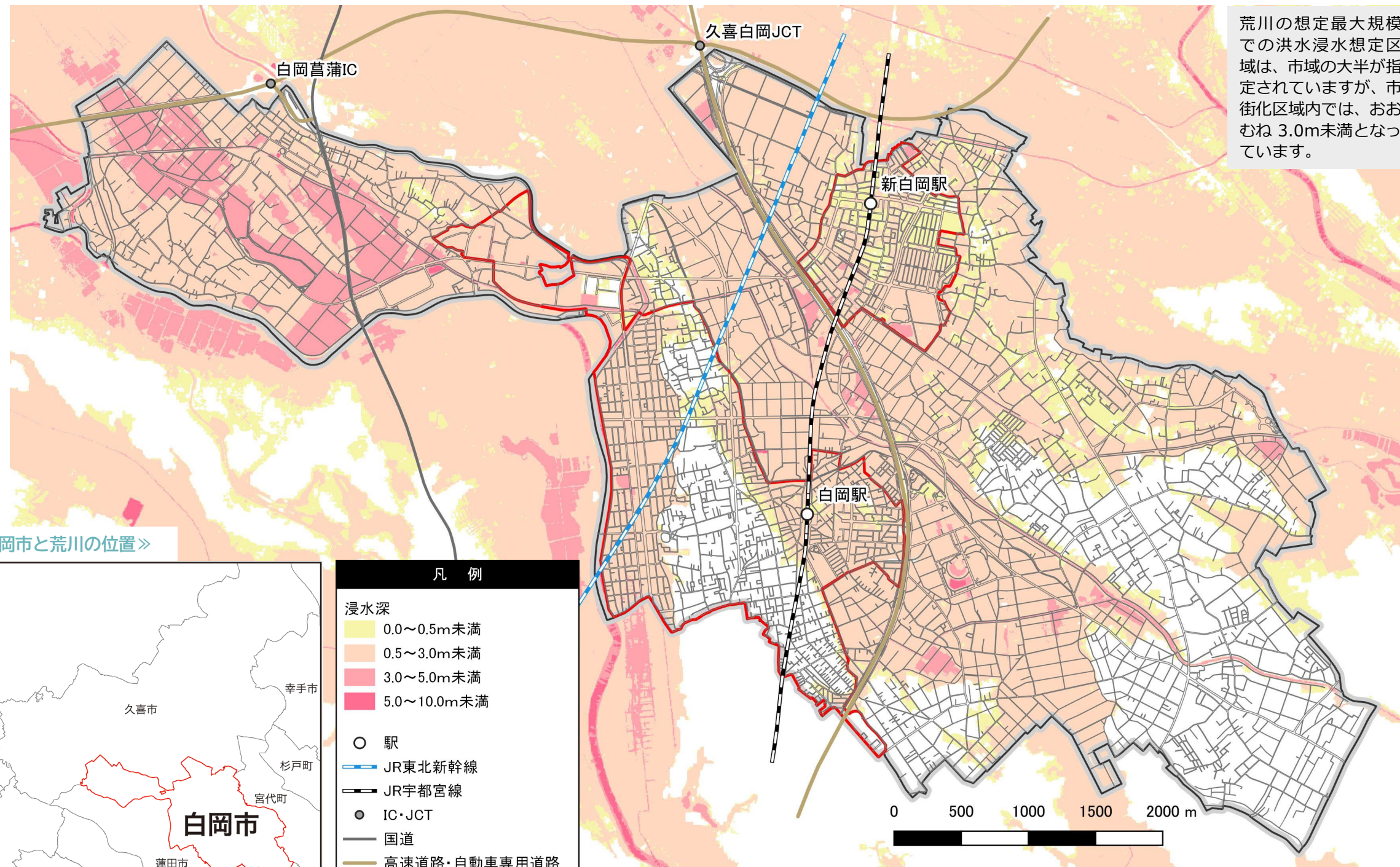
《白岡市と小山川の位置》



出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：利根川水系小山川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所）

《C 荒川の想定最大規模での洪水浸水想定区域》



《白岡市と荒川の位置》



出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

中川流域の想定最大規模での洪水浸水想定区域等は、市域の約半分の範囲に指定されており、市街化区域内では、白岡駅・新白岡駅南側が 0.5m 未満、県道さいたま栗橋線周辺が 0.5m から 3.0m 未満となっています。

凡 例

浸水深

- 0.0~0.5m 未満
- 0.5~3.0m 未満
- 3.0~5.0m 未満
- 5.0~10.0m 未満

○ 駅

— JR東北新幹線

— JR宇都宮線

● IC・JCT

— 国道

— 高速道路・自動車専用道路

0 500 1000 1500 2000 m

流域内 7 河川の位置

羽生市 加須市 久喜市

中川 荒川 利根川 荒川 荒川 荒川 荒川

《白岡市と中川流域内 7 河川の位置》

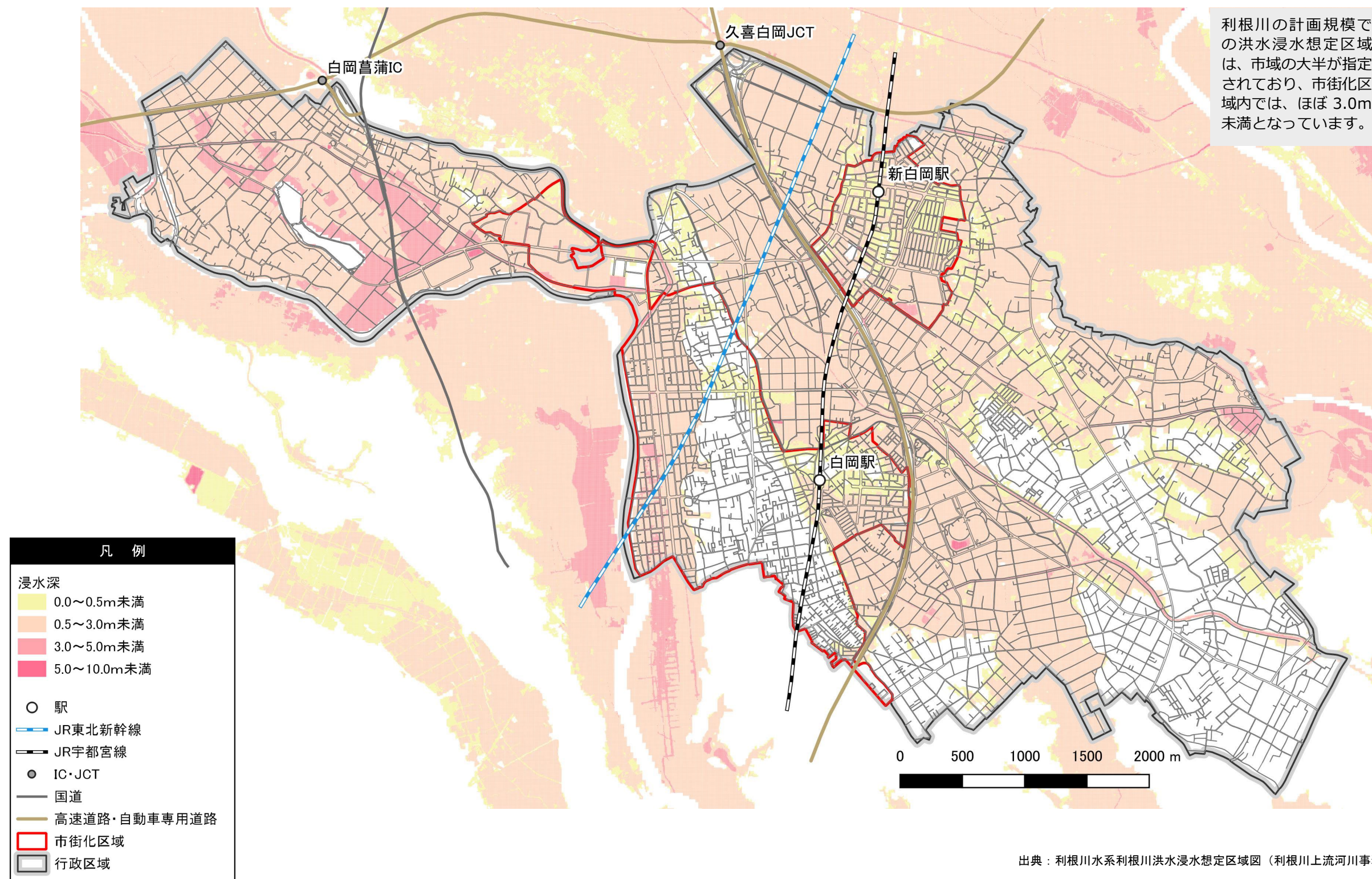


凡 例	
浸水深	
	0.0～0.5m未満
	0.5～3.0m未満
	3.0～5.0m未満
	5.0～10.0m未満
○ 駅	
	JR東北新幹線
	JR宇都宮線
	IC・JCT
	国道
	高速道路・自動車専用道路
	市街化区域
	行政区域

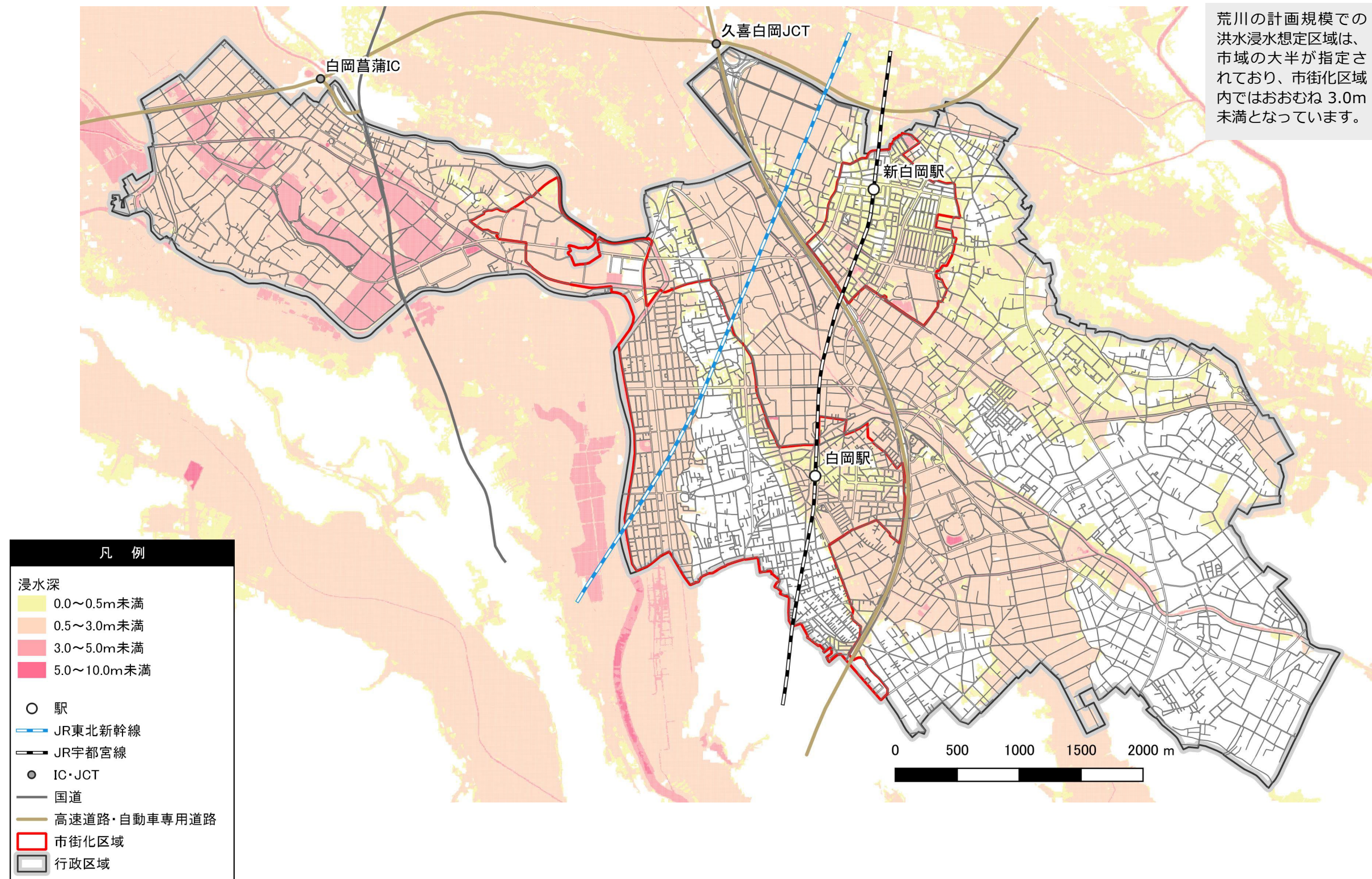
2) 洪水浸水想定区域等（浸水深：計画規模）

本市が対象となる計画規模降雨での洪水浸水想定区域等は、利根川、荒川、中川流域が指定されています。最も範囲の広い利根川では、想定最大規模よりも浸水の範囲は若干狭くなるものの、市域の大半が含まれています。市街化区域内はほぼ 3.0m 未満となっておりますが、県道さいたま栗橋線周辺の一部は 3.0m から 5.0m 未満となっております。

《A 利根川の計画規模での洪水浸水想定区域》

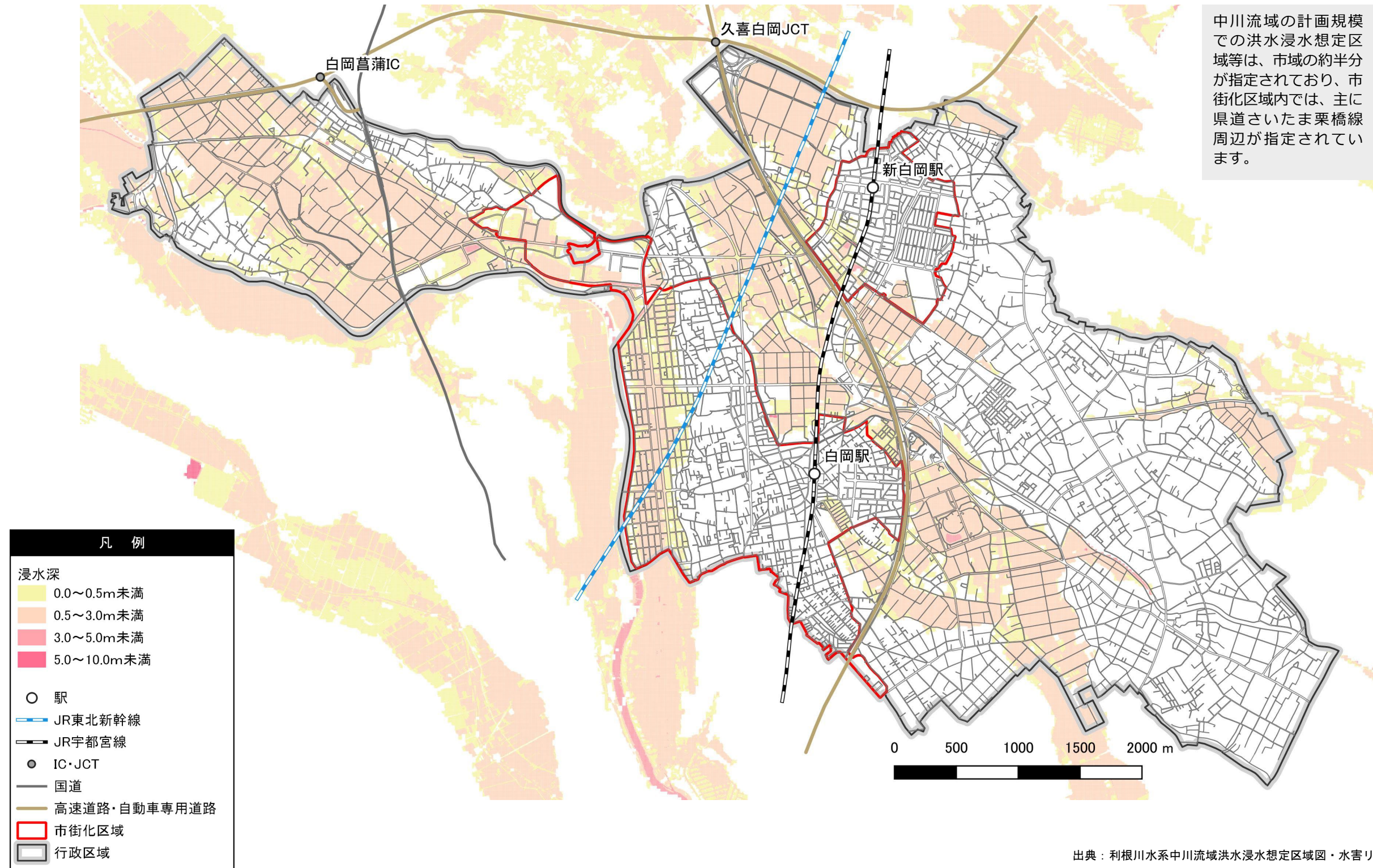


《C 荒川の計画規模での洪水浸水想定区域》



出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

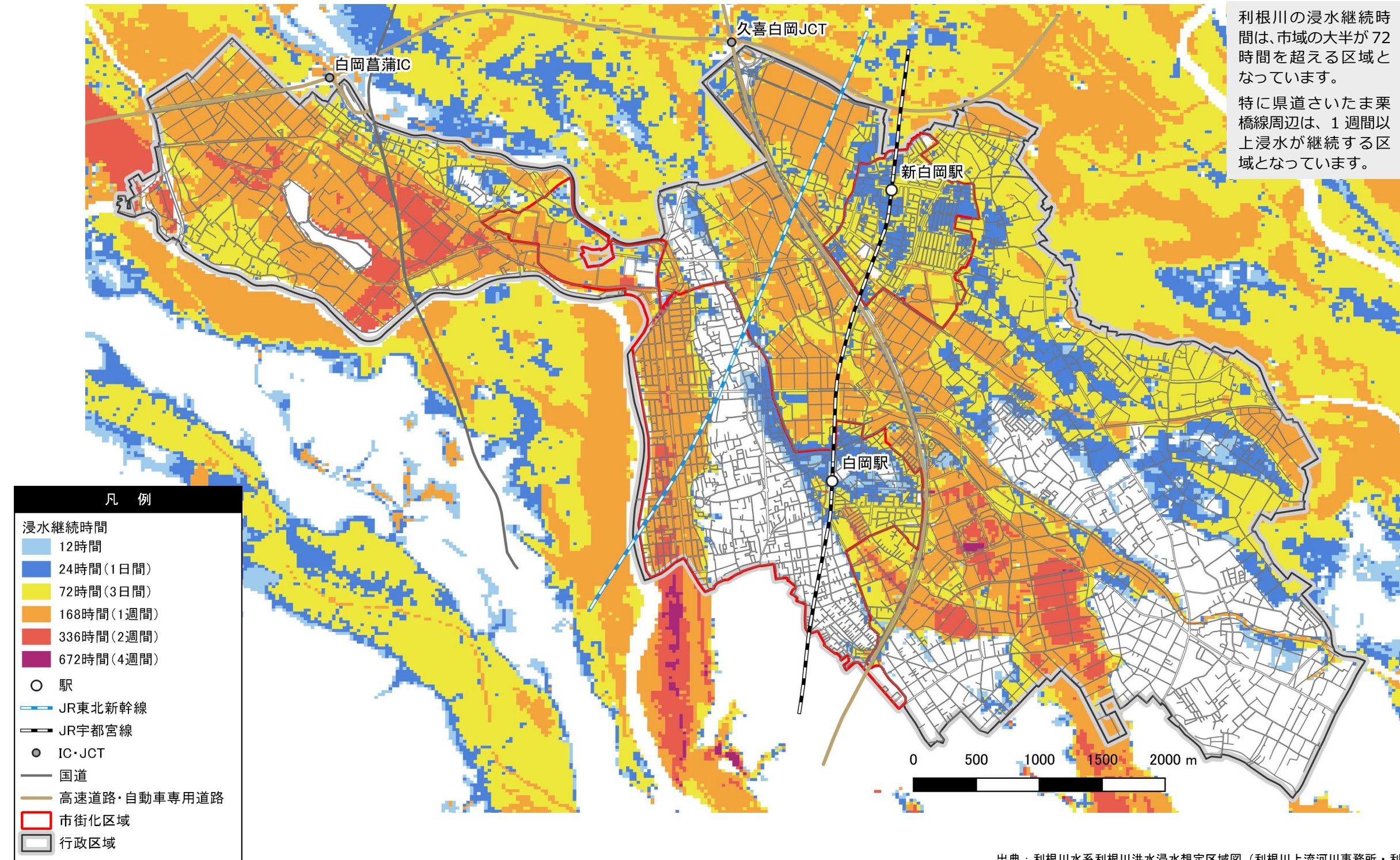
《D 中川流域の計画規模での洪水浸水想定区域等》



3) 洪水浸水想定区域（浸水継続時間：想定最大規模）

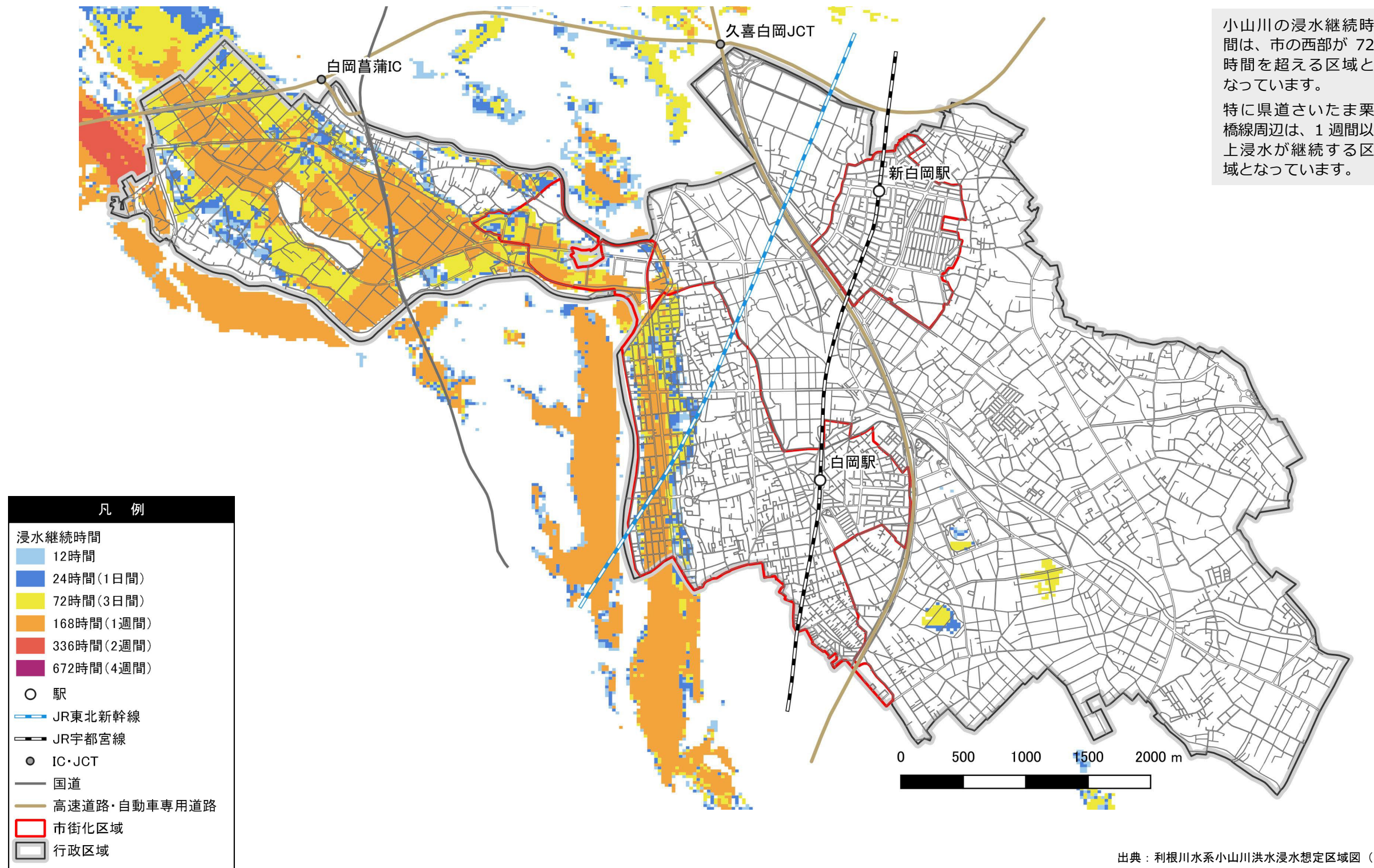
浸水継続時間は、氾濫水到達後、一定の浸水深（0.5mを基本）に達してからその浸水深を下回るまでの時間です。最も範囲の広い利根川の浸水継続時間は市域の大部分が、飲料水や食料等の不足による健康障害の発生や生命の危機が生じるおそれがあるとされる浸水継続時間 72 時間（3 日間）以上の区域となっています。特に県道さいたま栗橋線周辺は、1 週間以上、浸水が継続する区域となっています。

《A 利根川の浸水継続時間》

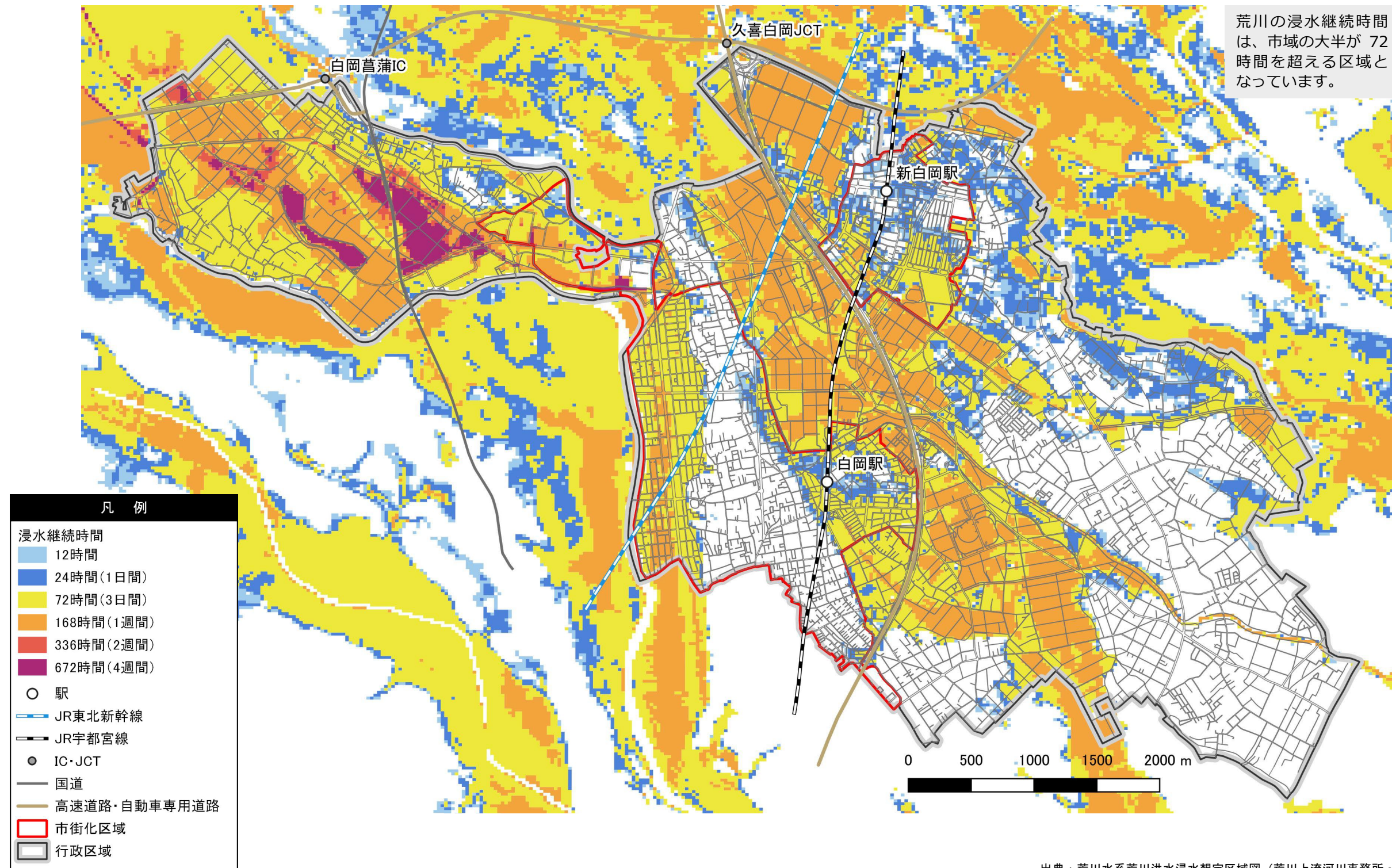


出典：利根川水系利根川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所・利根川下流河川事務所）

《B 小山川の浸水継続時間》

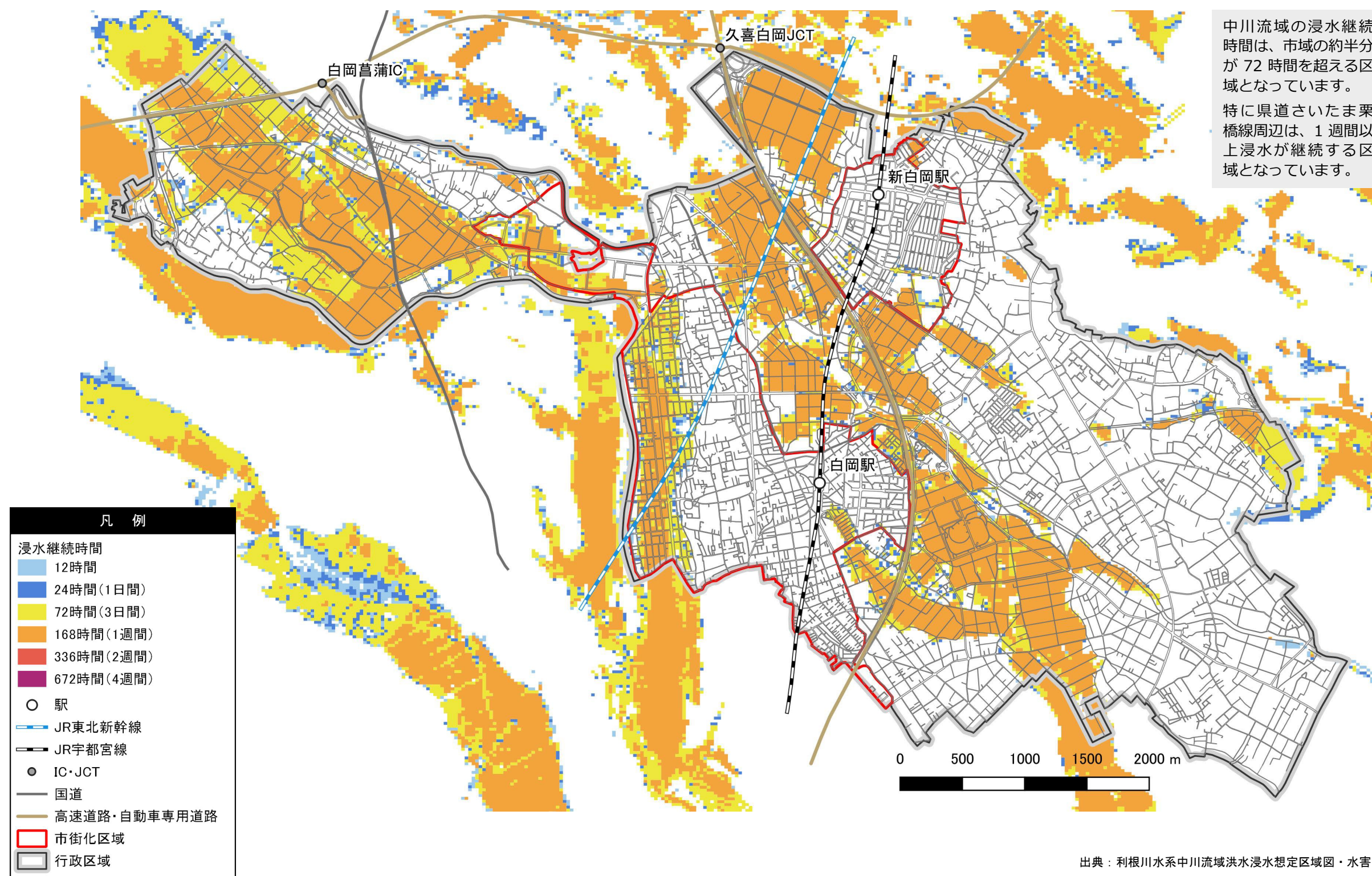


《C 荒川の浸水継続時間》



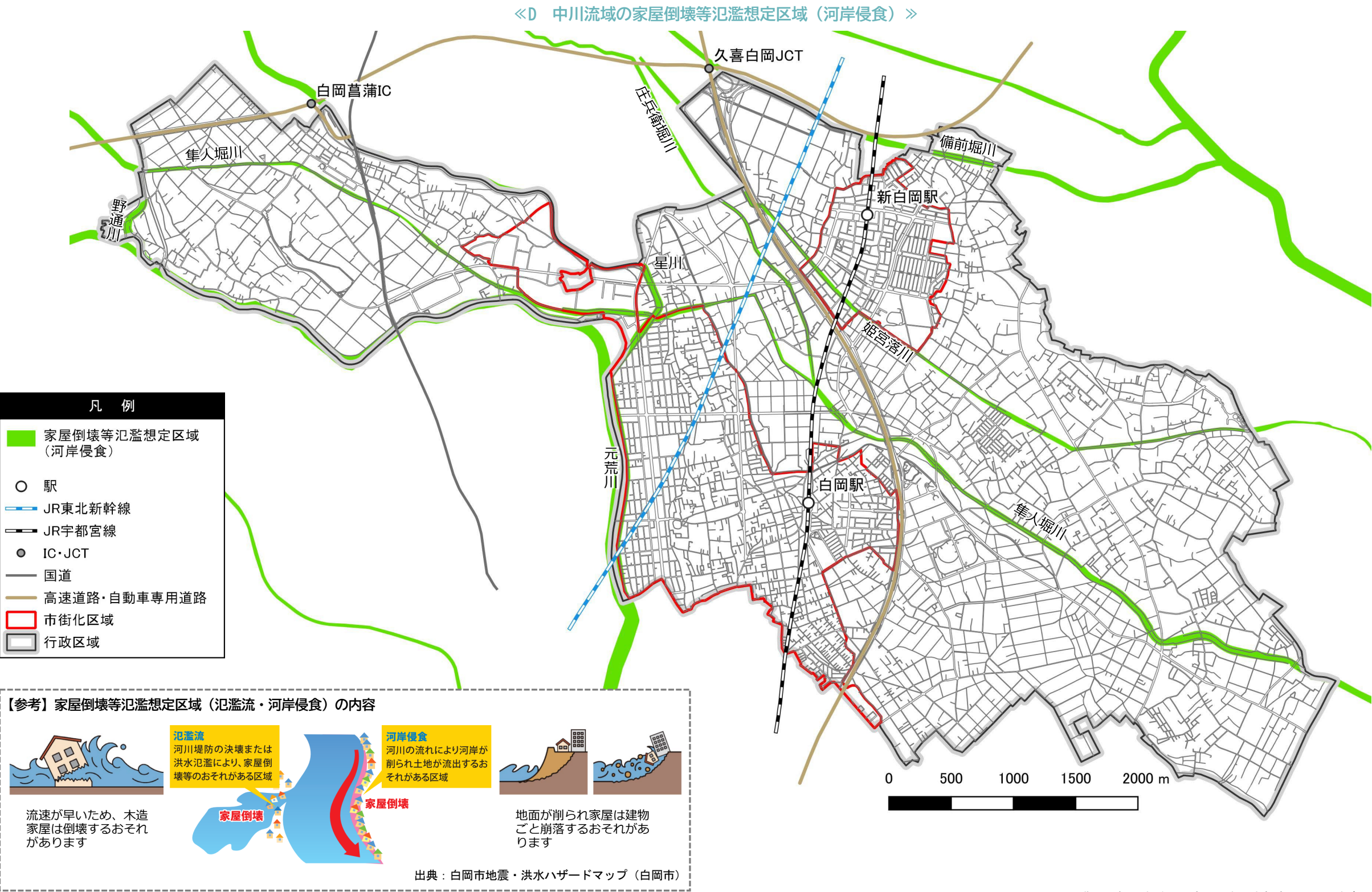
出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

《D 中川流域の浸水継続時間》



4) 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）

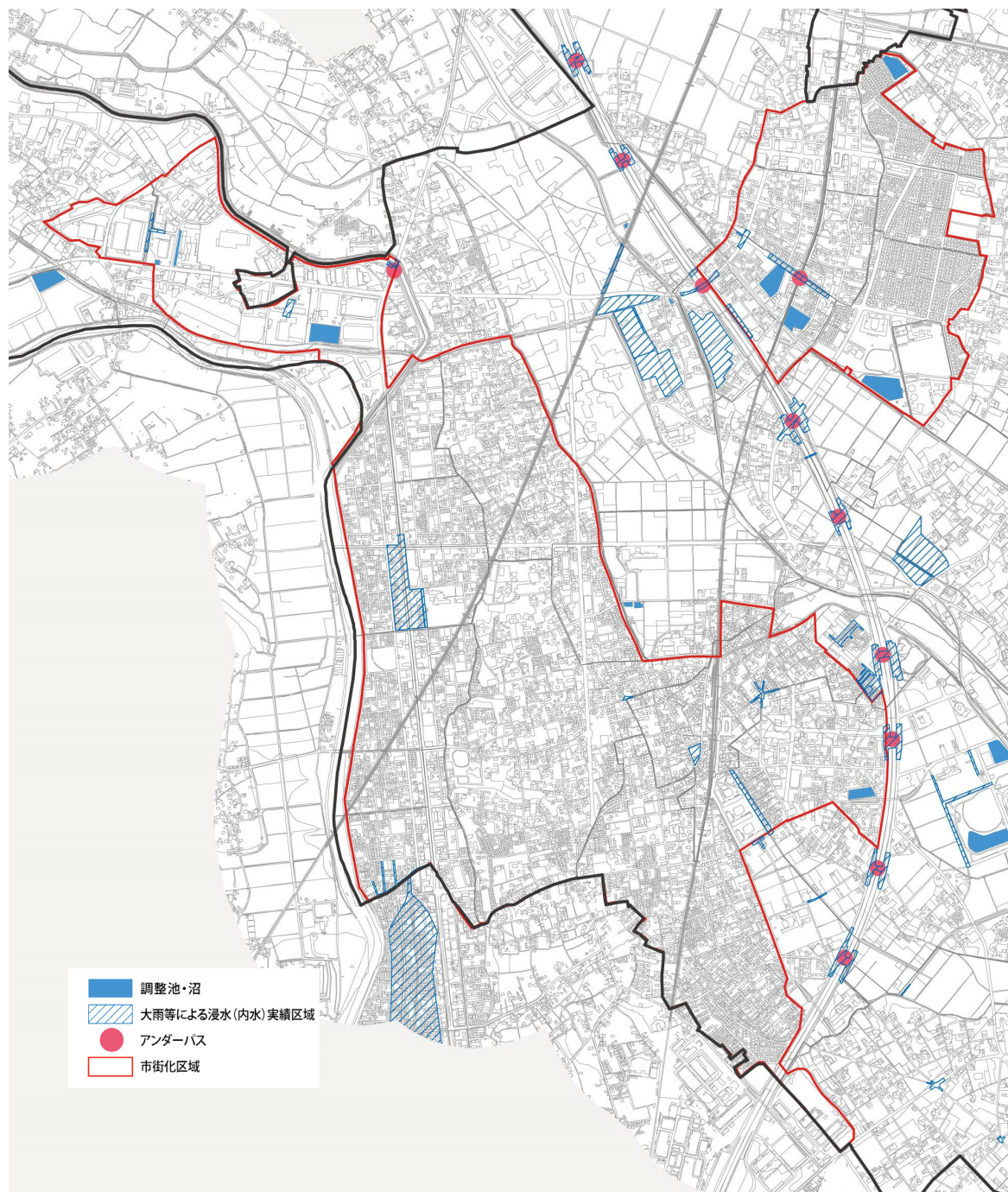
家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域である家屋倒壊等氾濫想定区域は、中川流域の洪水浸水想定区域等において、河岸侵食が指定されています。市街化区域内では、元荒川、星川、隼人堀川、姫宮落川沿いが指定されています。



(2) 内水

大雨等による内水氾濫で起こる浸水（下水道の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水）は、市街化区域内では、白岡駅周辺や西地区の一部、アンダーパスなどで発生しています。

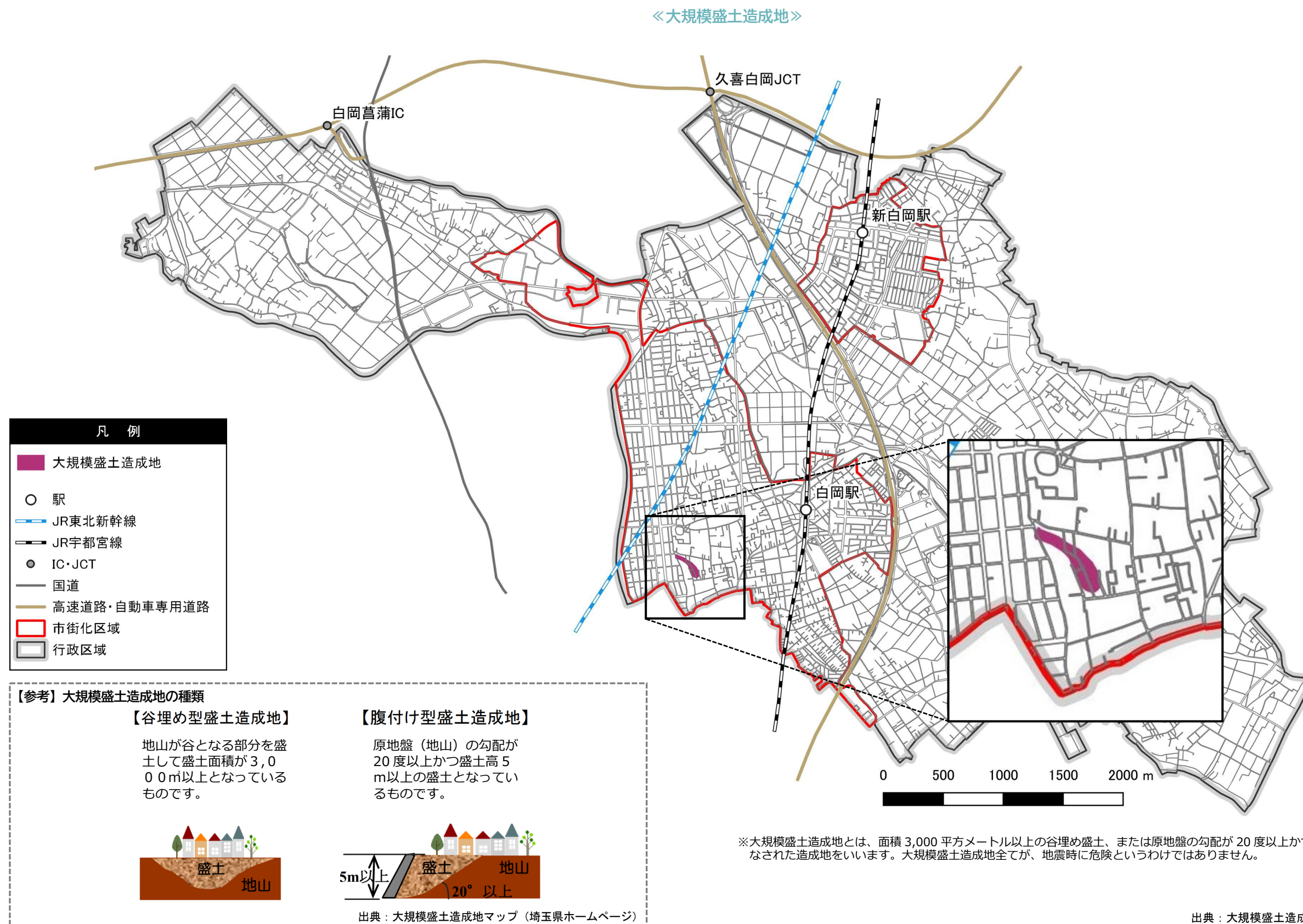
《浸水（内水）実績》



出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

(3) 盛土

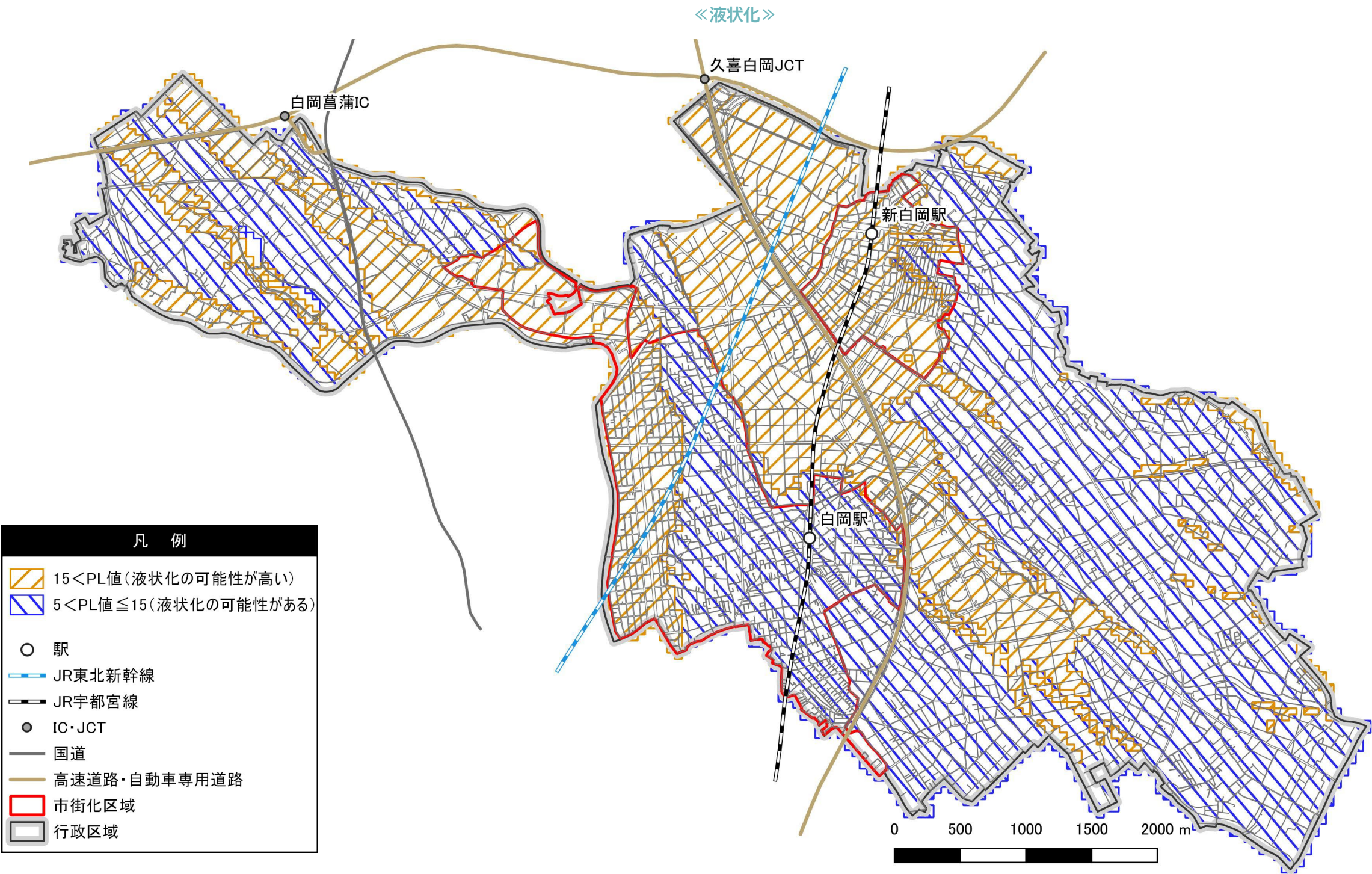
市内には、大規模盛土造成地が1か所あり、谷埋め型盛土造成地となっています。



(4) 地震

1) 液状化

地震が起きた際に液状化の可能性が高い地域は、市の中心部や西部地域が多く、市街化区域内をみると、新白岡駅周辺や県道さいたま栗橋線周辺となっています。

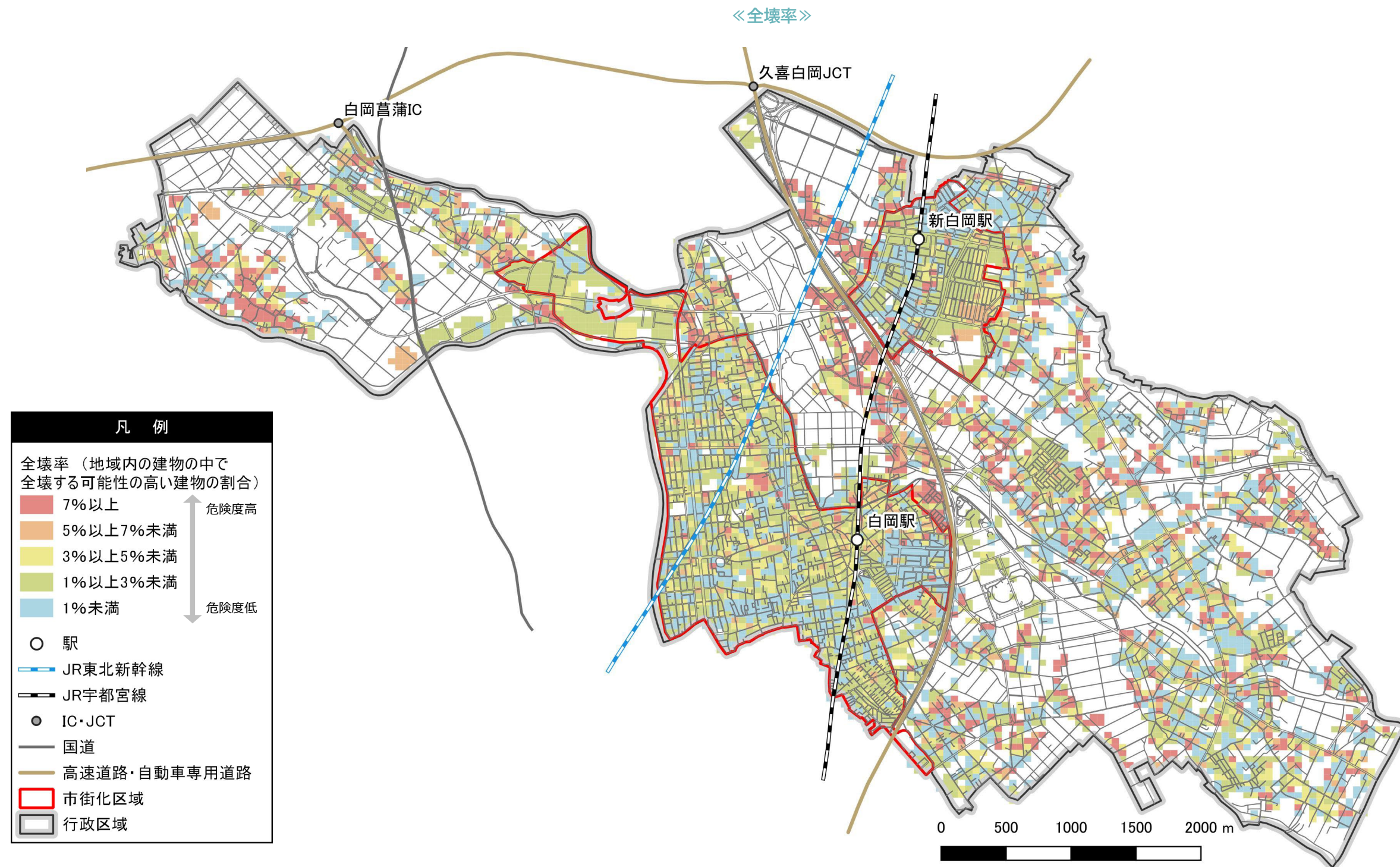


※白岡市内を震源とする直下の地震（M6.9）が発生した場合の液状化の可能性
※PL 値：地盤の液状化の程度を表す指標である液状化指数
PL 値=0 液状化の可能性が極めて低い
0<PL 値≤5 液状化の可能性は低い
5<PL 値≤15 液状化の可能性がやや高い
15<PL 値 液状化の可能性が高い

出典：揺れやすさ・液状化マップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

2) 全壊率（地域内の建物の中で全壊する可能性の高い建物の割合）

地震が起きた際の建物の全壊率は、市街化調整区域では全壊率が7%以上の危険度が高い地域が散在していますが、市街化区域内では比較的危険度が低い地域が多くなっています。



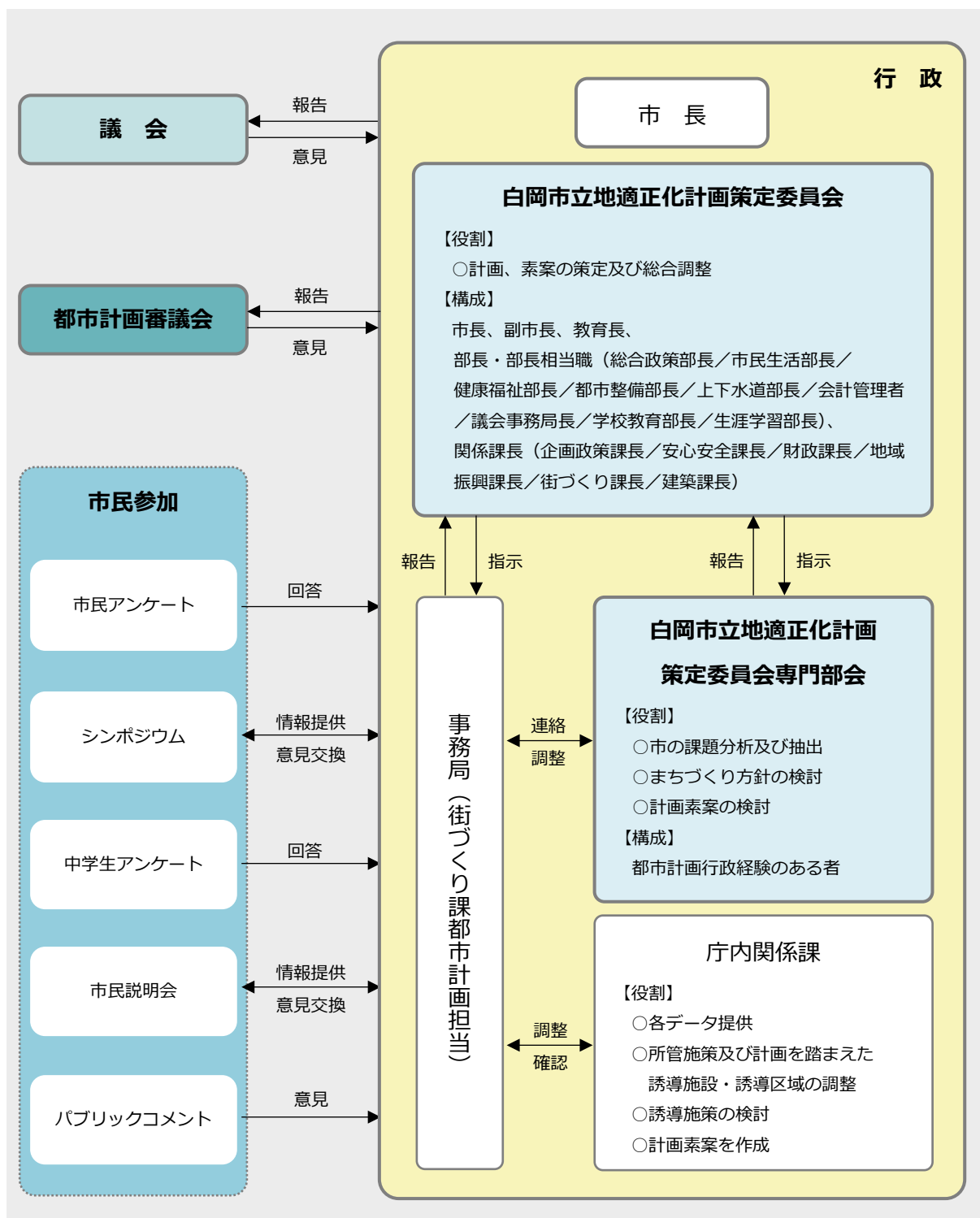
※震度（M6.9）と建物構造（木造・非木造）、建築年次別の建物棟数（平成29年（2017年）1月1日現在）から、全壊する建物の割合（全壊率）を算出して、50mメッシュごとに、5段階の危険度として示したもの。

出典：地域の危険度マップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

2 検討の経緯

(1) 策定体制

《白岡市立地適正化計画策定体制図》



(2) 策定経緯

開催日	会議等	主な内容
令和3年度（2021年度）		
10月28日	議会全員協議会	・計画策定について
11月18日	第1回立地適正化計画策定委員会	
11月19日	第1回立地適正化計画策定委員会 専門部会	
12月15日	第2回立地適正化計画策定委員会 専門部会	・現況分析について
12月16日	第2回都市計画審議会	・計画策定について
12月22日	第3回立地適正化計画策定委員会 専門部会	・現況分析について
1月19日～ 2月4日	市民アンケート調査	
2月26日	シンポジウム	
3月23日	第4回立地適正化計画策定委員会 専門部会	・現況分析について
令和4年度（2022年度）		
5月19日	第1回都市計画審議会	・計画の概要、現況の整理・課題の整理について
5月26日	第2回立地適正化計画策定委員会	
6月22日	議会議員協議会	
7月5日	第3回立地適正化計画策定委員会	・基本的な方針、誘導区域・誘導施設について
7月15日	第2回都市計画審議会	
7月28日	議会全員協議会	
7月6日～ 7月20日	中学生アンケート調査	
8月19日	第4回立地適正化計画策定委員会	・防災指針、誘導施策について
9月20日	議会議員協議会	
9月30日	第3回都市計画審議会	
10月11日	第5回立地適正化計画策定委員会	・計画（素案）について
10月27日	議会全員協議会	
11月1日	第4回都市計画審議会	
11月19日 11月20日	市民説明会	・計画（案）について
12月5日～ 1月5日	パブリックコメント	・計画（案）について
2月13日	第5回都市計画審議会	・諮問・答申

(3) 市民意見の把握

1) 市民アンケート調査

調査時期	令和4年(2022年)1月19日(水)～2月4日(金)
調査対象	1,500人(16歳以上の無作為抽出)
調査方法	配布は紙面にて郵送し、回答は紙面又はWeb回答
回答結果	632(紙面491・Web141)件 回答率42.1%

2) シンポジウム

開催日時	令和4年(2022年)2月26日(土) 午後1時30分～午後3時30分
開催方法	新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、ZOOMによるオンライン開催 当日の開催模様に関して録画した動画を市HPで公開
開催内容	第1部 立地適正化計画の策定について 第2部 基調講演「縮退時代の新しいまちづくり」 【株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役 清水義次氏】
参加者数	78人

3) 中学生アンケート調査

調査時期	令和4年(2022年)7月6日(水)～7月20日(水)
調査対象	市内中学校(篠津中学校・菁莪中学校・南中学校・白岡中学校)2年生 427人
調査方法	QRコードを配布し、googleフォームを利用してweb回答
回答結果	368件 回答率86.2%

4) 市民説明会

開催日時	令和4年(2022年)11月19日(土)・20日(日)
開催場所	19日:生涯学習センター[こもれびの森] 多目的ホール 20日:勤労者体育センター ミーティングルーム
開催内容	立地適正化計画(案)についての説明
参加者数	19日:18名 20日:8名

5) パブリックコメント

意見受付 期間	令和4年(2022年)12月5日(月)～ 令和5年(2023年)1月5日(木)
提出方法	紙面、メール、ホームページ専用フォーム
意見数	3件

3 用語集

あ 行

液状化

地震の揺れによって地盤が泥水のように柔らかくなる現象。

エリアマネジメント

地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための、住民・事業主・地権者等による主体的な取組。

オープンスペース

公園・広場・河川・農地等、建築物によって覆われていない土地の総称。

オンデマンド型交通

事前予約など、利用者のニーズに応じて柔軟に運行するバス又は乗合タクシーなどの公共交通サービスの形態。

か 行

開発行為

主として建築物の建築又は特定工作物の建設の用に供する目的で行う土地の区画形質を変更する行為。

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）

家屋の流失・倒壊をもたらすような洪水時の河岸侵食が発生するおそれがある範囲において、河岸が侵食されることにより、家屋の基礎を支える地盤が流失し、家屋本体の構造に依らず倒壊・流出のおそれがある区域。

家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）

家屋の流失・倒壊をもたらすような洪水の氾濫流が発生するおそれがある範囲において、河川堤防の決壊または洪水氾濫流により、木造家屋の倒壊のおそれがある区域。

急傾斜地崩壊危険区域

がけ崩れにより相当数の居住者等に危険が生じるおそれのある土地のうち、がけ崩れを誘発・助長するおそれのある行為の制限や、必要な施設を設置することを目的として都道府県知事が指定する土地の区域。

居住環境向上用途誘導地区

第1種低層住居専用地域では、病院や小規模店舗等の建築が制限されているが、都市計画で「居住環境向上用途誘導地区」を定めることにより、病院、店舗等の日常生活に必要な施設について、容積率、用途制限の緩和が可能となる。

居住誘導区域

人口減少の中にあっても一定のエリアにおいて人口密度を維持することにより、生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保されるよう、居住の誘導を図る区域。

近隣商業地域

用途地域の一種で、近隣の住宅地の住民に対する日用品の供給を行うことを主たる内容とする商業その他の業務の利便を増進するために定める地域。

計画規模（降雨）

河川の流域の大きさや想定される被害の大きさを考慮して定める、河川整備において基本となる降雨で、発生確率が100年から200年に1回程度の降雨。

建築等行為

建築物の建築又は建築物の用途を変更する行為。

工業専用地域

用途地域の一種で、重工業の工場など、工業の利便を増進するために定める地域。

洪水浸水想定区域等

水防法に基づき、国及び県が指定する想定最大規模降雨により氾濫した場合に浸水が想定される区域及び洪水浸水想定区域以外の県管理河川について、水防法に準じて県が公表している水害リスク情報図で示された区域。

公的不動産

国、地方公共団体等が所有する不動産。

国立社会保障・人口問題研究所

人口や世帯の動向、社会保障についての研究を行う厚生労働省に所属する国立の研究機関。

さ 行

市街化区域

都市計画法に基づき、既に市街地を形成している区域及びおおむね 10 年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

市街化調整区域

都市計画法に基づき、市街化を抑制すべき区域。白岡市では、市域のうち市街化区域以外は市街化調整区域となっている。

市街地開発事業

都市計画法に基づき、地域が抱える課題を解消するため、一定の区域を定め、地域の状況に応じた整備手法を用い、良好な市街地を形成する事業。土地区画整理事業や市街地再開発事業など。

地すべり防止区域

地すべりによる被害を除去または軽減するために、地すべり区域、およびこれに隣接する地域を国土交通大臣が指定する区域。

指定緊急避難場所

切迫した災害の危険から緊急的に逃れるための場所で、災害の種類ごとに指定される。

準工業地域

用途地域的一种で、軽工業の工場など、主として環境の悪化をもたらすおそれのない

工業の利便を増進するために定める地域。

浚渫

洪水時の水位を低下させるため、河川などの水底の土砂を取り除く作業。

商業地域

用途地域的一种で、都市の中心部で、主として商業その他の業務の利便を増進するために定める地域。

浸水継続時間

降雨による河川の氾濫が発生した際に、浸水深 0.5m 以上が継続する時間。

浸水深

洪水や内水氾濫によって水で覆われることを浸水といい、その深さ（浸水域の地面から水面までの高さ）。

垂直避難

洪水等の災害時に身の安全を確保するため、自宅の上階に上がるなど、垂直方向へ避難すること。

全壊率

地域内の建物の中で全壊する可能性の高い建物の割合。

想定最大規模（降雨）

現時点の技術により、当該地域において想定される最大規模の降雨で、発生確率が、1,000 年に 1 回程度の降雨。

た 行

第1種低層住居専用地域

用途地域的一种で、低層住宅に係る良好な住居の環境を保護するために定める地域。

大規模盛土造成地

面積 3,000 平方メートル以上の谷埋め盛土、または原地盤の勾配が 20 度以上かつ盛土高 5m 以上の腹付け盛土がなされた造成地。

地区計画

都市計画法に基づき、良好な都市環境の整備と保全を図るため、地域のまちづくりの目標に合わせて公共施設の配置や建築の規制等を行いながら、地域の特性に応じたまちづくりを誘導するための制度。

地形地物

道路、鉄道、河川、水路等の土地の範囲を明示するのに適当なもの。

低未利用地

周辺地域の利用状況に比べて利用の程度（利用頻度、整備水準、管理状況等）が低い「低利用地」と、適正な利用が図られるべき土地において、長期間にわたって利用されていない「未利用地」の総称。更地や空き家・空き店舗、資材置き場、駐車場など。

東京都市圏パーソントリップ調査

東京都市圏で「どのような人が」、「どのような時間帯に」、「どのような目的で」、「どのような交通手段で」、「どこからどこへ」移動したかなどを把握する調査。

都市機能増進施設

医療・福祉・商業その他の都市の居住者の共同の福祉又は利便のために必要な機能を持つ施設のこと。

都市機能誘導区域

医療・福祉・商業等の都市機能を都市の拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。

都市計画運用指針

国土交通省が、都市計画制度の運用に当たっての原則的な考え方について、地方公共団体に示した指針。

都市計画基礎調査

都市計画法に基づき、おおむね5年ごとに、都市における人口、産業、土地利用、交通などの現状及び将来の見通しを把握し、都市計画の運用を行うための基礎調査。

都市計画区域

都市計画法に基づき、一体の都市として総合的に整備、開発し、保全する必要がある区域。白岡市は、蓮田市とともに蓮田都市計画区域に指定されている。

都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

都市計画法に基づき、一の市町村を超える広域的見地から、広域的、根幹的な都市計画に関する事項を主として、県が定める方針。

都市計画マスタープラン

都市計画法に基づき、市町村が定める市町村の都市計画に関する基本的な方針。

都市再生整備計画区域

都市再生特別措置法に基づき、都市の再生に必要な公共公益施設の整備等を重点的に実施すべき土地の区域を対象として、市町村が作成することができる「都市再生整備計画」の区域。

都市のスポンジ化

人口減少などを背景に、まちなかにスポンジの穴のように空き家、空き地等がランダムに発生し、都市の密度が低下する現象。

土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に、建築物の損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域。

土地区画整理事業

土地区画整理法に基づき、公共施設の整備改善と宅地の利用増進を図るため、換地手法による土地の区画形質の変更と、道路、公園、広場等の公共施設の整備を行う事業。

な　　行

内水

下水道の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水。

は 行

PL 値

地盤の液状化の危険性を表す指標である液状化指数。

防火・準防火地域

都市計画法に基づき、市街地における火災の危険性を防止するために定める地域。

ま 行

メッシュ

地図上において、位置特定を補助したり、比較・分析するために、同一サイズの四角形で区切り格子状にしたもの。

や 行

誘導施設

都市機能誘導区域ごとに立地を誘導する、都市の居住者の共同の福祉又は利便のために必要な機能を持つ施設。

用途地域

都市計画法に基づき、地域の特性に応じて、建築物の用途、建ぺい率、容積率、高さ等を規制することにより、居住地の保護や商業・工業等の都市機能の維持増進を図り、都市のあるべき土地利用を実現するために定める地域。

目指すべき市街地に応じて用途別に分類される 13 種類の都市計画の総称。

要配慮者

高齢者、障がい者、傷病者など防災上の配慮を要する者。

ら 行

立地誘導促進施設協定

都市機能や居住を誘導すべき区域で、空き地・空き家を活用して、交流広場、コミュニティ施設、防犯灯など、地域コミュニティやまちづくり団体が共同で整備・管理する空間・施設（コモンズ）についての、地権者合意による協定。

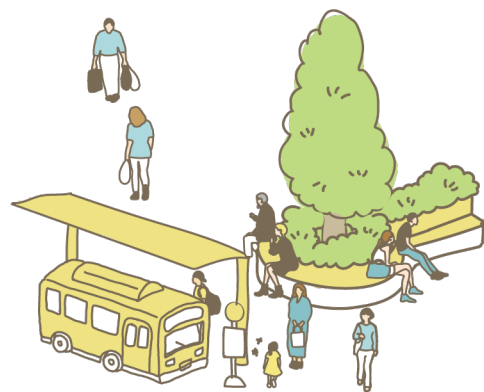
白岡市立地適正化計画

発行年月 令和 5 年（2023 年）3 月

発 行 白岡市 都市整備部 街づくり課

〒349-0292 埼玉県白岡市千駄野 432 番地

TEL : 0480-92-1111（代）



白岡市

